



会 長 小林 幹夫 青少年奉仕 橋本八右衛門
副 会 長 道尻 誠助 幹 事 正部家光彦
クラブ奉仕 道尻 誠助 会 計 佐々木泰宏
会長エレクト 紺野 広 会場監督 峯 正一
職業奉仕 妻神 和憲 直前会長 小井田和哉
社会奉仕 地代所久恭 副 幹 事 松本 剛典
国際奉仕 中村 稔彦 会計補佐 山村 和芳

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル
事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内
電話 (43) 0608 FAX (43) 0661
e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
http://hachinohe-rotary.org/
会報・広報委員長 峯 正一 同副委員長 荒谷 達也
同 委 員 廣田 茂 同 委 員 道尻 誠助

国際ロータリーのテーマ — 2022~23 — 八戸ロータリークラブのテーマ

イマジン ロータリー

ロータリーの力を信じよう!

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ

八戸ロータリークラブ会長 小林 幹 夫

9 月 は ロータリーの友月間です

第3242回例会 2022.9.21

▶ゲスト 青森県教育庁スポーツ健康課
競技力向上対策グループ
指導主事 古市由佳里さん
指導主事 大坂 淳さん

部卓話です。このような時ですが、どんどん外部の方をお呼びしてわれわれの見分を深めていきたいと思っています。皆さんご協力よろしくお祈いします。

会 長 要 件 小林 幹夫 会長



先週の連休中は30℃を超えて夏に戻ったのかと思いましたが、昨日今日、台風が過ぎたら一気に寒くなりました。今朝温度計を見たら10℃でした。体調にはお互い気を付けたいと思います。

暑いさ中、18日(日)にロータリー財団補助事業の「地元野菜を使って親子でクッキング」第3回目を行いました。1回目はブルーベリー、2回目はとうもろこし、3回目はさつまいもを収穫をして、料理をしました。これですべて終わったことになり、今は何となく達成感があるような状況です。内容は増田さんから詳細を報告していただきます。

きょうは青森県庁からゲストをお呼びして、卓話をしていただきます。本年度初めての外

幹 事 報 告 松本 剛典 副幹事

○本日は特に報告事項はありません。

委 員 会 報 告

親睦・会場委員会 岡崎孝文委員長



○ニコニコボックスの報告
・奥様誕生祝 渡辺 孝さん
小林幹夫・広瀬知明
夏川戸 齊さん

卓話よろしくお祈いします。

橋本八右衛門さん コロナも落ちつきました。
日本酒イベントも開催します。

福島哲男・山村和芳・赤澤栄治 } ニコニコ
吉田誠夫・山田慶次さん } デー

地区補助金事業報告

社会奉仕委員 増田 敏さん



9月18日(日)鳥守市民センターに集合し、社会奉仕委員会担当で地区補助金事業の芋掘りを行いましたので、簡単ですが報告します。

参加者は10組21名で、ロータリーからは小林会長をはじめ地代所久恭さん、植草務さん、小田山紀暢さん、増田敏の5名が参加しました。

春日さんの畑をお借りして、そこで芋掘りの説明を受け、子どもたちとお母さん・ご父兄と一緒に芋を掘りました。なかなか一生懸命掘り、中には今どき虫が大好きだ、ミミズを手に入れて喜んでいた家族もいました。南郷公民館に集合して、収穫した芋を料理しましたが、実際には事前に用意した芋を調理の方に下処理していただきました。最初はいったん蒸かした芋を軽く焼き目を付けたスイーツ、蒸かしてホットケーキ風にしたもの、湯がいて団子にしてみたらしたれをつけたものを作りました。

ほぼ1時前にすべての行事が終わり、解散しました。親御さんたちに料理を説明をするときに、子どもさんたちがどうしても落ち着かないので、別室で騒わがないようにしていましたら、植草さんの鬼ごっこが大盛況で、植草さんの人柄が感じられました。小林会長をはじめロータリーの皆さんの奉仕の精神を個人的に感じました。今後もこういった活動に機会があれば参加していきたいと思いました。皆様のご協力のほどよろしくお願いします。



ガバナーエレクト事務所より

「次年度八戸地区大会の横断幕の説明」

石橋信雄さん

地区大会がむつ市で10月1日～2日に行われますが、10月2日(日)に来年築館ガバナーを輩出し、八戸で地区大会を行います。そのPRを行います。その際の横断幕が先ほどできましたのでお披露目します。

日時は2023年10月21日～22日 八戸市で開催されます。妻神和憲さんが大会実行委員長、橋本八右衛門さんが大会幹事で準備を進めています。場所は公会堂、プラザアーバンホール、グランドホテルなどいろいろな会場を使いながら、10月21日～22日に開催予定です。Welcome to Hachinohe 和気満堂あふれる大会へ 築館ガバナーの思い“和気満堂”の雰囲気と思いやりのあるおもてなしをもって、大会をすすめたいということでこういうフレーズにしました。この内容で日曜日に八戸から12名の参加、南グループ、地区役員の皆さんと共にPRしてきたいと思います。何卒よろしくお願いします。



橋本八右衛門さんからご案内



お酒のイベントのご案内です。青森県酒造組合が主催します「全国利き酒選手権大会 青森県予選会」が3年ぶりに開催されます。うちの蔵で限定20名様で開催します。それに引き続き、八戸地酒研究会がマチニワで「第10回地酒で乾杯」というイベントを開催します。これにも青森県酒造組合が協賛の形で参加します。内容はちらしに書いてあります。利き酒は無料ですが、その結果を“地酒で乾杯”のイベントで発表する関係で、利き酒に参加された方

は“地酒で乾杯”のチケットを買っていただくことになっています。

最近マチニワでは肉フェスやビールなどのイベントをやって、マチニワを大いに盛り上

げていくイベントがいろいろ開催されています。ぜひ中心街を応援する意味合いでも皆様にご参加いただければと思っています。どうぞこの機会をお見逃しなくよろしくお願いいたします。



2026年青森国体に向けての「ジョブスポあおもり」について

青森県教育庁スポーツ健康課競技力向上対策グループ 指導主事 古市 由佳里さん
指導主事 大坂 淳さん



指導主事 大坂 淳さん

説明の前に資料確認をします。①青の煌めき青森国スポ ②ジョブスポあおもり ③第4回あすなび意識調査 東京オリンピックの際に選手の雇用をした際の企業と選手の意見をまとめたものです。④2026年青森国民スポーツ大会のポスター よろしければ掲示をお願いします。⑤青森県若者定着奨学金返還支援制度

ジョブスポあおもりの内容に入る前に、4年後2026年に青森県内全体で青森国民スポーツ大会が開催されます。今まで「国体」と言われていた国民体育大会の“体育”の部分が“スポーツ”と呼び名が変わり、「青森国民スポーツ大会」となっています。①のパンフレットの裏面に、今回4年後に開催しますが、45年前に「あすなる国体」ということで青森県で国民体育大会を実施した際の写真が掲載されています。45年前の国体が4年後2026年に青森県で開催されるということになります。

愛称は「青の煌めき青森国スポ」で、青森県内各地でさまざまな競技が行われることとなります。スローガンは「翔ける未来へ縄文の風にのって」。マスコットキャラクターは

アップリートくんです。アップル（りんご）とアスリート（競技選手）を兼ねてアップリートのキャラクターが県内各地に、さまざまな競技の姿に変えて表示されることになっています。

国民スポーツ大会が開催される各市町村の一覧です。正式競技は37競技、特別競技1、公開競技7、デモンストレーションスポーツ38種目、冬季正式競技3となっています。その中で八戸市周辺で開催される競技はサッカー、バスケットボール、レスリング、自転車、ソフトボール、ラグビーフットボール（7人制）、ボーリングです。青の競技は正式競技、赤は冬季正式競技です。

冬季スピードスケート、アイスホッケーに関しては今年、栃木県で国体が行われている最中です。10月にもまた競技が再開して国民体育大会が開催されるわけです。1月に開催された栃木国体冬季競技に関しては、アイスホッケー競技は成年男子8位、少年男子5位の結果でした。冬季競技と夏季競技の成績を足して、すべての競技の合計得点で順位をつけ、天皇杯、皇后杯が1位の県に授与されます。その1位、2位を目指して4年後の国民スポーツ大会に向けて今、競技力を向上サポートさせていただいているのが、わたしたちのグループになっています。

1月の栃木国体の結果は冬季競技スケート、アイスホッケー、スキーのトータルで47都道府県中18位です。現在夏の競技が行われていて、水泳、弓道、体操、ビーチバレーで今のところ総合得点が47都道府県中33位です。トータルで今現段階での順位は47都道府県中23位です。アイスホッケー競技のみでいくと

47都道府県中5位です。アイスホッケー競技に関しては本当に順位がいつも上位になっていて、4年後の青森国民スポーツ大会でも優勝を目指して大いに期待できる競技だと感じています。

今の順位に関してですが、国民体育大会は昨年と一昨年はコロナの影響で中止、延期になっていました。その前の3年前の茨城国体で青森県の総合順位は47都道府県中45位という結果でした。今コロナ禍の中ですが、競技力が少しずつ上がってきて今現在は現段階では23位の順位に上がってきています。最終的な目標としては優勝して天皇杯、皇后杯を青森県が勝ち取ることを目標として取り組んでいる最中です。

その取り組みの中の1つとして、「ジョブスポあおもり」という事業になります。これは青森国民スポーツ大会で出場するための選手が青森県内の企業に就職して、働きながら選手の活動を支援していただける協力企業を募集している事業です。わたし共青森県競技力向上対策本部で、この「ジョブスポあおもり」事業をやっていて、企業と実際に出場したいと言っている選手や指導者の間に入って、何とか就職の支援をとということで無料の職業案内紹介所ということでやらせていただいています。

簡単に言いますと、通常の求人+選手が遠征や合宿、大会などに出場するときに仕事の時間帯などを考慮していただきながら、選手の応援も含めて、働きながら活躍できるような環境を作っていきたい、というような事業です。特に今現在、大学生であるとか、県外に就職していてその競技を続けている選手や指導者がいた際に、この「ジョブスポあおもり」の無料の職業紹介所で地元に戻ってきて、実際に競技を続けながら仕事もしていく。そして青森国民スポーツ大会が終わった後も選手として続けられる場合は選手として続けながら、もし選手を引退するとなった際にはそちらの就職をした企業で活躍をしていただく、という流れでやっていきたいと考えています。

パンフレットに対象となる選手、労働条件

などが記載されています。ただただ国民スポーツ大会あおもりに出場したいので、何とか雇用してもらえませんかというわけではありません。対象としては現段階で国民スポーツ大会や全国大会などでの8位以上に入賞している選手を対象にして、就職の支援をしていきたいとしています。ただただ出場している選手が企業に入りたいから、この職業紹介所を使うのではなく、現段階で全国で8位以上のトップのアスリートを雇用していただいて、活動の中でまた順位を上げていただいて、4年後の青森国民スポーツ大会では入賞を目指して頑張ってもらいたい、という支援の1つになっています。

労働条件などは特に通常の正規雇用でお願いしたいと決めています。勤務時間、休日、給与、手当などはその各企業でお願いする形になってはいますが、先ほどもお話ししました通り、選手はいろいろな大会、合宿、遠征等にも行くと思いますので、そちらの方も少し通常の雇用より考慮していただきながら、選手が活動しやすい環境にしていいただければと思っています。

現在までご協力いただいている企業は8月末時点ですが55社、9月の段階で60社が協力していただける企業になっています。株式会社ヤサカの松本様にもご協力いただいて何とか選手の雇用に協力いただけるということで掲載させていただいています。こちらにご出席の方に協力いただける企業様がおられましたら、求人票が入っています。アスリートの時間帯を少し考慮していただけるような求人になればと思っています。

ただいま55社が載っていますが、9月段階で60社中15社が八戸市内の企業様にご協力いただいています。本当にありがたいと思っています。いろんな競技の選手がいますので、いろんな職種を選びながら、何とか青森国民スポーツ大会に向けて、選手および企業様の協力も踏まえての環境作りをしていきたいと考えています。わたし共の目標としては100~200社くらいがパンフレットに載って、現在大学生で活躍をしている青森県出身の選手

に就職の斡旋支援ができればと思っています。ぜひご協力いただければと思いますので、よろしくをお願いします。

この支援をしています。たとえばトップアスリートがA社就職を希望したからといって、そのA社が必ず雇用しなければいけないわけではありません。選手と企業で通常通りに就職試験をしていただいて、お互いにマッチした時点で成立になります。もし全国1位の優秀な選手がいたとしても、企業と就職試験をした際にあまりうまく合わなかった場合には雇用が成立しなくてもいいという状態です。通常の就職試験に+αアスリートの環境を、ということで考えていただければと思いますので、よろしくをお願いします。

企業と選手のプラスな部分、マイナスな部分ですが、2021年東京オリンピックに向けたJOCのアスナビという調査で、選手側、企業側の意見が書かれたパンフレットをご覧ください。選手側の意見、企業側の意見、勤務先を決めた理由などトップアスリート選手を雇用して良かった点などのグラフが数値で載っています。

入社してからとてもそう思う（入社して良かったかどうか）

選手も企業も応援しながら、会社で働いてもらう。初めはなかなか興味がわかかなかった方々も、そのような選手が近くにいることによって、その競技を見るようになった。応援するようになったりで少しずつプラスになってきている。アスリートなのでフレッシュで元気いっぱいな選手が多いと思うので、会社の中に活気があふれた、というプラスの内容。

ジョブスポあおもり 3年前には47都道府県中45位という状況で、4年後の国民スポーツ大会に向けてさまざまな競技、八戸市内では冬季競技のアイスホッケー、スケート、スキー、夏季競技ではサッカー、バスケットボール、自転車などがありますが、そういった競技の選手が直接会場に近いところで働きながら活動ができることが、選手が実際に当日自分たちの力を発揮することができ、いい成績を収めることができると考えています。

現在途中ですが、栃木県で行われている栃木国体でも弓道競技は総合4位、水泳競技は個人で青森市出身の相馬選手が100mバタフライで優勝。以前はオリンピックの選手に選ばれるような選考選手でしたが、その選手が国民体育大会に出て2位と0.04秒差のタッチの差で優勝しました。

なかなか青森県内で活躍する選手が少ないです。その中でも新聞などで報じられることもあるのですが、なかなか知られていない競技があります。わたしも皆さんになかなか知られていない水球という競技をやっています。水の中で片手でサッカーをやるような競技です。足のつかないプールで浮きながら、ゴールに向かって手で投げる、ハンドボールのような感じの競技です。実際に4年後の青森国民スポーツ大会では、ご存じの競技もあれば、なかなか見る経験のない競技なども多々あると思います。

このすべての競技が4年後、全国の選手が1位を競い合うために青森県内に集まります。八戸市内にも全国の選手や指導者、応援しに来る方が集まってくると思います。その際にはさまざまな宿泊施設、各市町村の方々の協力も得て、何とかこの国民スポーツ大会を盛り上げていっていただければと思っています。何とか皆さんのご協力をいただきながら、今回の内容のジョブスポあおもりに協力していただける企業の方々がいらっしゃいましたら、ぜひ青森県教育庁スポーツ健康課競技力向上対策グループ本部に連絡をいただければと思います。

もしご協力いただける企業の方々がいらっしゃいましたら、封筒に同封した名刺のアドレスにご連絡をお願いします。求人票のデータをお送りしたいと思います。必要事項を入力いただければ、ジョブスポあおもりのパンフレットおよびホームページに協力企業として掲載していきたいと考えています。現在コロナ禍でなかなか活動できない部分もあるかと思いますが、何とか4年後の青森国民スポーツ大会にむけて、わたし共も選手の支援をしていながら、各市町村の企業の方々のご協

力をいただきながら、青森県全体で何とか4年後の青森県国民スポーツ大会を盛り上げていきたいと考えています。何卒ご理解ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

質疑応答

Q 広瀬知明さん：そうでなくても人が集まらない時代に、スポーツを経験した人というのはうちの会社にもいっぱいいますが、礼儀正しく、元気で、少し失敗してもめげないというところで、スポーツ経験者は有能な人材かと思っています。3点ほど質問です。

- エントリーされている選手、監督さんは何人くらいいますか？
- 実際にジョブスポあおもりで採用に至った、マッチングしたケースがあるかどうか。
- 実際に採用したけれど、国体選手は選考があるので、選考に落ちたケースもあるのかと思いますが、その辺りを伺います。

A 古市：選手や指導者のエントリー数に関して、問い合わせは青森国スポが近づくにつれて年々増えてはきています。ただ確実に受けて、絶対という人は今現在いません。けれども、3社4名がこちらのジョブスポを利用して就職しています。3社4名のうち2名は企業側から割と時間などを優遇していただいて、競技に専念している選手です。他2名は本当に普通に始めから5時まで勤務。競技によって練習時間が割と長くなければならぬ競技と弓道やボーリングのように1日いっぱい練習しなくてもいい、空いている時間に練習できればいいという競技があります。そういった部分については、基本的には通常業務のお願いをしていますが、もし会社側でご配慮していただければ、その練習時間の確保ということも協力していただければと思っています。

開催年はほとんどが開催県になると予選なしで出場できます。何種目かは予選がありますが、予選がなくて出場できる優遇措置があります。今すぐに就職して、何年か経ったらけがをして競技に出られないことも想定されると思います。ただこのジョブスポあおもり

は選手だけをやっていけばいいのではなく、そのまま会社に残って、普通に働いていただきたいというのが、われわれの思いです。

他県の話聞いてみても、選手だけ長くやっていた選手は実際にセカンドキャリアに就くときにすごく困る。年をとって次の仕事に行きたいといっても、なかなか就職先が見つからない。であれば例えば勤務時間を少なくしていただいたとしても、働いて得る経験はすごく本人たちの役に立つ、または競技にもっと集中できるというような意見もあります。これを機に青森県に来て、競技を続けながら青森に定着していただく。定着していただいた後に指導者として今度はこどもたちや地域に還元していただきたいというのが、われわれの思いです。

これにエントリー、協力していただいたとしても、会社に都合があると思いますので、その時に今はちょっと取れないということでも構いません。もしこちらの会社に就職したい選手がいたら、こちらは先に今、就職ありますかと問い合わせをします。それで、お互いがマッチングできれば採用試験に進んでいけばいいかと考えています。なお、われわれはこのリーフレットをもって大学にも行っています。大学にこういった会社が協力してくれていますということで、会社の宣伝にもつながると思います。ベスト8以上というところも会社の宣伝、みんながその選手を応援して入賞を目指してがんばるということもあって、ベスト8以上を設定しています。

青年選手の得点が本当に少なくて困っています。青森県に戻ってきたいという大学生もたくさんいますので、ぜひご協力のほどよろしくお願いいたします。

松本副幹事：お問い合わせは大坂さんまでお願いします。青森国民スポーツ大会を成功させられるように、われわれも協力できればと思います。今の人手不足を解消する意味ではこういった形で採用するのも1つの方法ではと思います。皆さまご協力のほどよろしくお願いいたします。